

推奨技術①	準推奨技術①	準推奨技術②	準推奨技術③
-------	--------	--------	--------

CB-180013-VE

KT-160064-VE

KT-170070-VE

KT-200133-VE

ウォータージェットはつり
処理工法
(ジェットマスターJMK-2100)

Gブロックドレイン
(製品素材にステンレスを用い、
ステンフィルター又は多孔質防汚
透水ゴムフィルターを有するクリー
ニングオフの鋼製排水溝)

ポストウイングシリーズ
(既設の視線誘導標等に被せて貼
付る高輝度デリネーター)

砕石メッシュかご「かご楽」
(中詰め材に砕石を使用することで
施工性向上や省力化を図る砕石
メッシュかご工法)

本技術は、人力では保持が不可
能であった、大水量の超高压水を
機械に保持させ噴射し、さらにノズ
ルユニットを自動的に駆動させるこ
とで、安定的、均一にはつり作業を
行う技術です。

また、危険で劣悪な環境且つ、熟
練工でなければならなかった人力
によるハンドガン作業を、より安全
に、汎用的な作業に切り替えること
を可能とします。

本技術は、雨水吸水にフィルター
を備える事で、鋼製排水溝内部へ
の土砂、ゴミの流入軽減が図れる
技術です。

本体母材はSUS821L1のため、高
耐久化・軽量化が図られ、長期の
使用と施工時・清掃時の省力化に
も貢献いたします。

本技術は、ウレタンターポリンに
反射シートを貼りつけたカバー式の
視線誘導標であり、視認性の向上
や注意喚起の必要性が生じた場合
に、従来では交換や大掛かりな工
事が必要でしたが、本技術の活用
により、既設本体を利用して材料費
をおさえ、なおかつ工具不要で被せ
て貼り付けるだけの簡単な施工工
程で通行車両等からの視認性が大
きく向上し、安全性の向上が図れる
技術です。

本技術は、網目を細目化しL型本
体パネルと中枠で構成され、中詰
め材に砕石(40mm以上)を使用
するドレーン工、土留工等に適用可
能なかご工です。

底面が無い為部材がコンパクトで
置場を取らず運搬・設置が容易で
す。仕切り網が無いため、中詰め作
業も容易で従来工法に比べて、工
程の短縮、経済性の向上及び施工
性の向上が図れます。



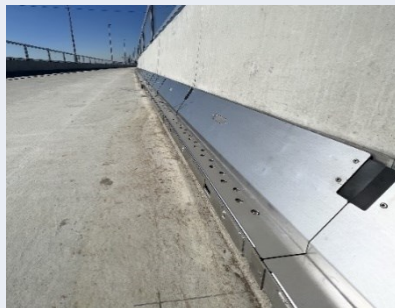
施工状況概略図



施工状況



施工後



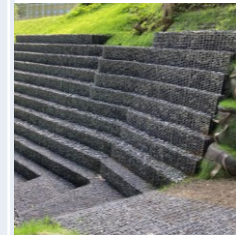
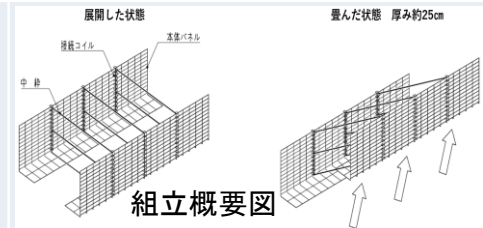
標準：
青地3本
ライン
設置例



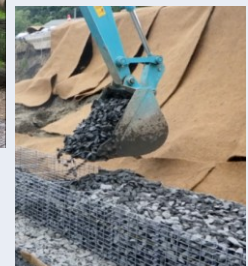
標準：
緑地くの字
設置例



特注：
橙地文字
入り
設置例



施工事例



技術概要一覽

準推奨技術④	準推奨技術⑤	準推奨技術⑥	準推奨技術⑦
HR-180002-VE	KK-180061-VE	CG-130006-VE	CG-210003-VE
<p>ソーラー式LED クッションドラムⅡ (ソーラー電源による赤色LED照明を内蔵した内照式クッションドラム)</p>	<p>DCネット工法 (表層崩壊と表土の移動を抑制する斜面对策工法)</p>	<p>ハレーサルト張り出し歩道 (塩害及び凍害による劣化に対して優れた耐久性を有するプレキャスト張り出し歩道)</p>	<p>養生用防災クロス (ポリエチレン製保護フィルムを重ねなくても剥離剤による溶融や溶剤の浸透が発生しないポリエチレン製防災クロス)</p>
<p>本技術は、上面蓋上に設置したソーラーパネルと、本体内部上面蓋に吊設された超高輝度赤色LEDライトとが接続され、透過性材料を用いた本体内部から赤色LEDライトが点滅し、本体が赤色に染まることにより視認性を高め、同期することによりさらに注意喚起できる技術です。</p>	<p>本技術は、高強度ネット、ひし形状に配したケーブルとその交差部に打設したロックボルト・プレートで構成される地山補強工法です。簡易な部材構成により施工性が高く、全面緑化も可能であり、環境に配慮できる工法になります。</p>	<p>本技術は高炉スラグ微粉末と高炉スラグ細骨材により緻密な組成とした超高耐久性プレキャストコンクリート製品用コンクリート「ハレーサルト」を使用し、凍害・塩害・それらの複合劣化に対する抵抗性を高め、長期間供用を可能としたプレキャスト張り出し歩道になります。</p>	<p>本技術は、鋼構造物等の塗装に用いる耐薬品性防護シートで、保護フィルムを重ねなくても剥離剤による溶融や溶剤の浸透が発生しない軽量で防災性能を有した技術です。</p>



【夜間 光る様子】 【透過性の比較】



【矢印板 交互に光る様子】 【同期し光る様子】



緑化の状況



施工事例



施工事例



施工状況 塗料剥離状況



防災テープによる 付属設備の 養生風景



スーパーライト防災クロス スーパーライト防災テープ

技術概要一覽

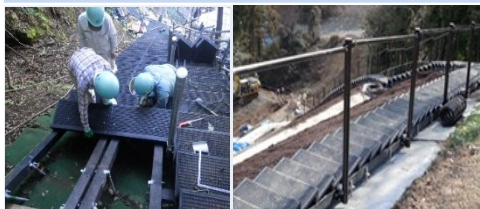
準推奨技術⑧

SK-180020-VE

法面設置点検用階段・非常階段
(法面点検管理及び非常用等に用いる
再生プラスチック製階段)

本技術は、主に傾斜地等における現場の点検管理に用いる組立式階段であり、階段部分への手摺設置を可能とした技術です。

従来の手摺は階段部分とは別に杭の打込み等が必要ですが、本技術の活用によりそれらの工程が不要となるため、施工性及び経済性の向上が期待できる技術です。



施工状況1

施工状況2



施工完了1

施工完了2

評価促進技術①

KTK-180001-A

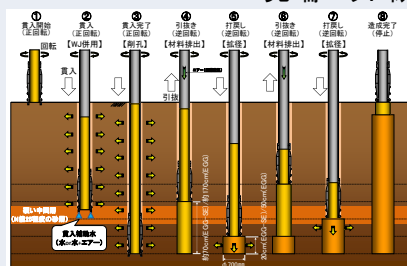
KS-EGG-SE工法
(硬土土質に対応した無振動低騒音式地盤改良工法)

本技術は、緩い砂質地盤に回転駆動装置と押し込みウインチを組み合わせた回転貫入装置により、ケーシングパイプの静的貫入を行い、パイル材の排出・打戻し・拡径によって締固めた杭を造成することで、原地盤を静的に締固める地盤改良工法です。



施工状況

先端ヘッド概略図



施工サイクル図